



令和2年度 第2回 大館市木材利用推進会議

説明資料

令和2年11月19日(木)
本庁 1階 第2会議室

< 開催結果の概要 >

- 秋田県立大学木材高度加工研究所 所長 高田 克彦 氏より「森林資源と木材利用について」と題し、木材利用の意義、国際的な情勢や国内の情勢に関する情報提供や本会議の取り組みについて助言いただいた。
- 大館市木材利用推進会議の目的及び大館市木材利用促進計画案の概要について事務局より説明を行い、意見交換を行った。
- 推進会議委員より各部での取り組みとの連携化に関する意見や木材利用の実態の把握の必要性について意見が寄せられた。

< 推進会議次第・要旨 >

< 推進会議開催状況 >

1 開会 委員長あいさつ

委員長 大館市産業部長 日景 浩樹

- ・平成23年度に大館市木材利用基本方針を定めたが、公共建築物等への木材利用はあまり進んでいないのが現状。
- ・本推進会議が中心となり、課長補佐級を委員とする部会、議会への報告を経て、年度内の木材利用推進計画の公表を目標とする。

2 森林資源と木材利用について

秋田県立大学木材高度加工研究所 所長 高田 克彦 氏

- ・化石燃料からバイオマス資源への転換が必要。
- ・産業部／建設部のリーダーシップの発揮に期待する。

3 概要説明（推進会議、木材利用促進計画案ほか）

事務局 産業部林政課・建設部都市計画課

- ・推進会議及び木材利用促進計画案の概要について説明。

4 意見交換

各推進会議委員

- ・市内での新築のほとんどは大手ハウスメーカーであり、国産材の利用は少ない。現状を知ってもらい木材利用に繋げてほしい。
- ・良い取り組みであるが、財政とのバランスも大切。
- ・環境基本計画を策定する予定であり、その中にあるゼロカーボンの計画ともリンクしながら進めてもらいたい。
- ・屋内の遊び場整備の要望も寄せられているので、内装への木材利用を検討したい。
- ・大館の木材を都市部へ紹介していくなどの協力をしていきたい。

5 閉会

アドバイザー 高田所長

事務局説明



意見交換



推進会議委員



日時：令和2年9月25日（金）16時～17時
 会場：大館市総合福祉センター3階 第1研修室
 出席者：委員長・副委員長・委員6名、アドバイザー1名、事務局6名

< 開催結果の概要 >

- 秋田県立大学木材高度加工研究所 准教授 足立 幸司 氏より「木材利用について～破～」と題し、SDGsとの関連性、地域連携事例やウィズコロナでの木材利用などについて紹介いただいた。
- 大館市木材利用推進会議の目的及び大館市木材利用促進計画案の概要について事務局より説明を行い、意見交換を行った。
- 部会委員より計画の対象となる公共施設の考え方について確認や木材利用に関するメリット等のPRが必要との意見があった。

< 部会次第・要旨 >

1 開会 部会長あいさつ

部会長 大館市産業部林政課長補佐 小棚木 信晴

- ・平成24年3月に大館市木材利用基本方針を定め、公共建築物等への木材利用を率先して進めていくことにしているが、その後の取組が十分ではなかった。
- ・木材利用は、コストの掛かり増しや維持管理の手間や費用の発生などの課題もあるが、市が率先して木材利用を進める。

2 木材利用について ～破～

秋田県立大学木材高度加工研究所 准教授 足立 幸司 氏

- ・SDGs、秋田県内での木材利用に関する取り組み状況、ウィズコロナにおける木材利用などについて紹介。
- ・木材の加工技術に関して、秋田県、特に県北は木材を使いこなす企業が全国的にも揃っている地域。相談や要望があればサポートしていきたい。

3 概要説明（推進会議、木材利用促進計画案ほか）

事務局 産業部林政課木材産業係・建設部都市計画課営繕係

- ・推進会議及び木材利用促進計画案の概要について説明。

4 木材利用促進計画案に関する意見交換

各部会委員

- ・公共建築物整備の際は早い段階で木材調達にかかる時間等の情報収集が必要。
- ・「目標を達成できなかった施設」という記載が、悪いことをした印象を与えてしまう。比較検討したが木造化できなかったという客観的な情報と理由を添えて公表する必要がある。 など

5 閉会

< 部会開催状況 >

小棚木部会長



足立准教授



事務局説明



部会委員



日時：令和2年11月6日（金）14時～15時半

会場：大館市立中央公民館 1階 第1・2研修室

出席者：部会長・部会委員12名、外部有識者1名、事務局3名

大館市木材利用促進計画案に関する意見・要望 とりまとめ結果

<実施内容・結果について>

○11月6日から13日までの期間で庁内各課に対し、計画案に関する意見聴取を行った。

○各部庶務担当課の部会委員に部毎の意見・要望のとりまとめを依頼し、12課より提出があった。

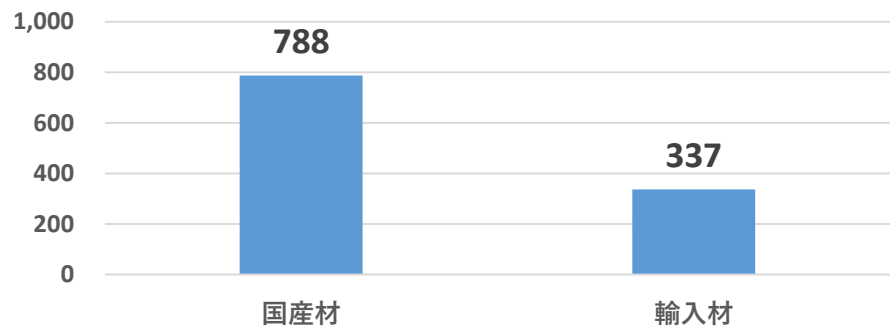
(内訳：総務部：2課、市民部：2課、福祉部：1課、産業部：1課、観光交流スポーツ部：1課、建設部：2課、教育委員会：2課、その他：1課)

部	① (大館市木材利用促進計画案)	② (公用備品等の調達に関する事項)	③ (各部所管事業と木材利用施策との連携の可能性)
総務部	○本庁舎建設事業・2期外構工事において、駐輪場へのCLT採用を検討している。本件の公表時期は令和4年度末以降。	特になし	○森林・林業に関する職員研修 新規採用職員研修において、講義の一つとして取り上げることが可能。(講師は林政課職員)
市民部	○基本構想等について推進会議の意見を伺うことになっているが、新斎場整備基本計画は策定済み。事業スケジュールに影響がないように随時開催できるように検討していただきたい。 ○長期間に渡って継続的に利用する場合、「植える」「育てる」の視点が重要であり、本計画に盛り込む必要はないのか。	○木製の名札は、やわらかい感じがして市民からの印象がいい。 ○市民課窓口の人口世帯数等の掲示板を木材で作成。 ○EMSにて「環境物品調達基準で指定された物品等の調達割合を90%以上」(グリーン購入)を目標管理しており、木材は環境負荷の少ない材料であることから、木材を使用した物品等を新たに追加するなど基準を見直すことも検討可能。	○バイオマスタウン構想との連携(未利用バイオマスの利活用)木質ベレット、チップのエネギー化 ○木質ベレット、チップの利活用促進対策を検討中(例：ベレット等購入ポイント還元など)
福祉部	○子ども及び保護者に木とふれあう機会を設けるため、就学前児童施設職員の木育インストラクター養成を促進する。	○木製の現金受け渡しトレー、記載台の木製ペン立て	○市民から要望の高い、子どもの屋内遊び場を整備する際の木造化や内装木質化、年齢相当の木の遊具やおもちゃの整備 ○将来的に保育園を立て替える際の木造化や内装木質化 ○就学前児童施設への作品づくりの部材提供 ○就学前児童施設での木のおもちゃ購入及び購入費補助 ○伝統的工芸品用途に向けた高齢級の育成・管理
産業部	特になし	特になし	
観光交流スポーツ部	○【概要説明資料】：施設の追加(・野遊びSDGs推進事業宿泊施設整備(新築、R4)) 【木材利用促進計画案】：バイオマスポイラーに関する意見(利用者(市民等)及び運搬者の視点も必要)	○新庁舎内で来場者の目に触れるようにアピールすべき。部課名のプレートや待合席、エントランスの椅子テーブルなど。	○観光施設整備と木材利用施策の連携(石田ローズガーデン、野遊びSDGs宿泊施設) ○登山道、遊歩道の整備(矢立遊歩道や田代岳登山道等整備)
建設部	○工事用看板の木材使用について： <建築>建設業許可など合板に張り付ける形なら対応可。 <土木>イメージアップ経費を使い対応 ○公共工事における木材利用 <建築>SDGsやサステナブル建築の観点からも鉄骨増や鉄筋コンクリート造よりも優位に立てる。 <土木>木材製品は腐食の可能性が有り、公園の長寿命化の観点から使用は難しい。	○推進アピールする缶バッチのようなもの。(秋田犬缶バッチ)	○間伐材を利用に関する初期投資への支援や部材の提供や補助金交付等制度の創設。
教育委員会	○地元産業と連携し、必要な施策として具体化した内容を盛り込み、実効性ある計画となるよう希望します。 ○施設の特性上木材利用が難しい施設を対象施設とするか否かの区分け、年度途中から計画された施設の評価などの取扱いを明確にすべき。	○田代、比内その他の施設では、課名表示を木製にすることはできないのではないか。 ○間伐材名刺などの例示されているものは推進すべき(名刺にはちくんや大館曲げわっぱの焼き印など基本デザインに工夫必要) ○既存の公共建築物の内装木質化を進めるべき(ふるさとキャリア教育等を視察しにくるお客様や来庁する市民へのPR)	○公共建築では特に新築や改築事業の際、木造化が大規模であればあるほど法的な規制が嵩み、かなり技術的な工夫が必要。 ○木造公共建築物の事例紹介パンフレットを作成してはどうか。 ○市内製材等の取扱製品を選定しやすい環境づくりが必要。 ○CLT材については部分的な使用を積極的に検討したい。 ○木育の推進での横の繋がりが、子ども課、健康課、学校教育課などでできるのでは。
その他	○対象施設毎の工程表の変更(消防署北分署庁舎整備)	特になし	特になし

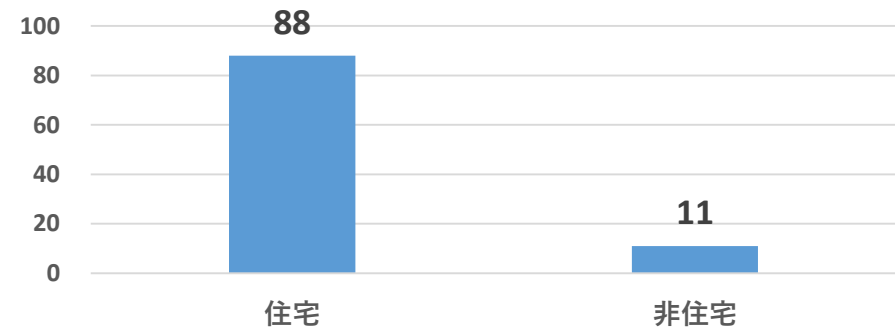
＜アンケート調査について＞
 ○6月4日から12日までの期間で市内の工務店（大手ハウスメーカー除く）に対し、木材利用に関するアンケート調査を行った。
 ○42社へ送付し、26社より回答（回答率：61.9%）があった。
 ○その他、市内で年間住宅着工数トップの県内ハウスメーカーへ木材利用に関するヒアリングを行ったところ（11月9日）、使用する木材については100%輸入材であり、国産材については価格よりも強度性能が劣っているため活用しないとの意見。一方で、国産材の性能が向上し、安定的な供給が見込めるのであればぜひ利用したいとの意見もあった。

Q、令和元年度における建築実績、使用した建築材の国産材・輸入材の使用量及び非住宅の用途について回答してください。

建築材使用量（単位：m³）

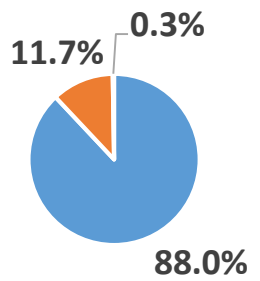


建築棟数（単位：棟）



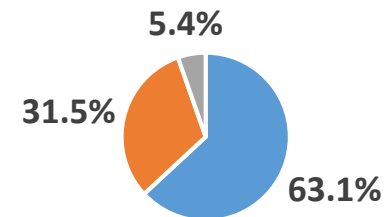
Q、令和元年度における建築材（国産・輸入材別）の調達先割合について回答してください。

国産材



■ 国産材 / 市内 ■ 国産材 / 県内（市外） ■ 国産材 / 県外

輸入材



■ 輸入材 / 市内 ■ 輸入材 / 県内（市外） ■ 輸入材 / 県外

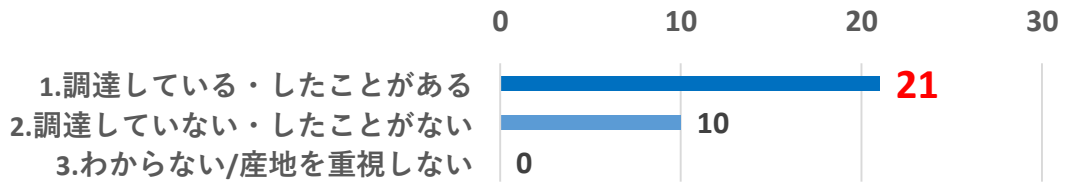
情報提供（都市部における木材利用に関するアンケート調査結果）

<アンケート調査について>

○大館北秋田地域林業成長産業化協議会において9月28日から10月16日までの期間でみなとモデル二酸化炭素固定認証制度の協定木材の供給に係る登録事業者のうち三大都市圏（首都圏・中京圏・近畿圏）に拠点を有する木材関連企業に対し、都市部における木材利用に関するアンケート調査を行った。77社へ送付し、31社より回答（回答率40.3%）があった。
 ○自由記載欄に「秋田は秋田杉にあぐらをかきすぎた。そのような意識がないかもしれないが何度伺ってもあまりいい気はしない。もっと自分たちが置かれている立場を自覚するべきだ。産地に視察に行っても覇気が無い。」との厳しい意見も。

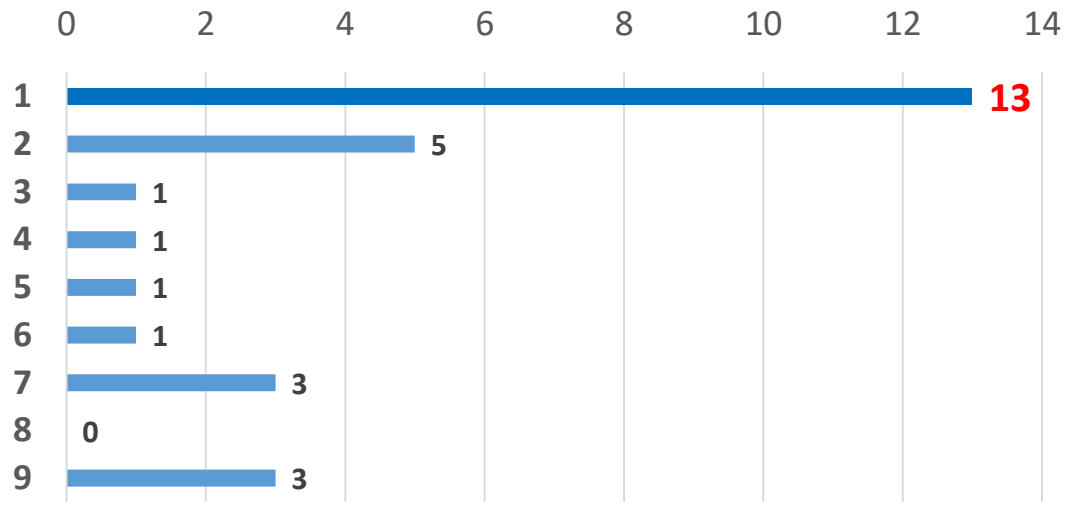
Q、秋田スギの調達について

1.調達している・したことがある	21
2.調達していない・したことがない	10
3.わからない/産地を重視しない	0



Q、「1. 調達している・したことがある」と回答いただいた方（複数回答可）

1. 注文や問合せを受けた場合のみ調達している	13
2. 常時調達している/在庫している	5
3. 会社として秋田スギの利用を推奨している	1
4. 他地域産と比べ価格面で優位性があるので調達している	1
5. 以前は価格面で優位性があり調達していたが、優位性がなくなり今は調達していない	1
6. 他地域産と比べ品質面で優位性があるので調達している	1
7. 以前は品質面で優位性があり調達していたが、優位性がなくなり今は調達していない	3
8. クレームが多く調達を中止した	0
9. その他	3



1.知っている	14
2.知らない	16
3.無回答	1

Q、「天然秋田スギ」と「秋田スギ」の違いについて

< 計画のポイント >

○市が整備する公共建物等の具体的な目標等を定め、関係部局の連携を図り、木材の利用促進に向けた課題を分析しながら総合的に推進するため、市木材利用基本方針に基づく計画を策定するものです。

○産学官連携による「WOOD CHANGE (ウッド・チェンジ)」を推進し、木材利用に関する市民理解の醸成に努めるとともに、「植える、育てる、収穫する、上手に使う」の森林の持続的なサイクルを構築するものです。

< 計画の概要 >

1 計画の名称

大館市木材利用促進計画（案）

2 計画の期間

3年を一期とする

令和3年4月1日 ～ 令和6年3月31日

3 計画の対象とする取り組み

- ①市が整備する公共建築物の木造化及び内装木質化の推進
- ②公用備品等における木製品導入の推進
- ③公共土木事業等における間伐材利用の推進
- ④住宅・非住宅への木材利用の推進
- ⑤木質資源の多角的利用の推進
- ⑥都市部との連携による木材利用の推進
- ⑦木育の推進
- ⑧「木の文化」を活かした「木のおもてなし」の推進



4 計画の到達点・指標

- ①計画対象公共施設の木造・木質化施設率
- ②市産木材使用量割合
- ③二酸化炭素固定量の増加
- ④二酸化炭素削減量の増加
- ⑤木育インストラクターの養成



5 計画の推進体制

- ・大館市木材利用推進会議の開催
- ・成果の検証及び実績の公表
- ・対象施設毎の工程表の作成及び進捗管理

< 計画の対象となる施設・主な事業 >

○計画の対象となる施設

- ・JR大館駅前駐輪場（新築、R4）
- ・大館市斎場（新築、R7）
- ・野遊びSDGs推進事業宿泊施設（新築、R4）
- ・扇田駅公衆トイレ（新築、R3）
- ・小・中学校（改築、R5～6）
- ・大館第21分団(土目内)消防車庫（新築、R3）
- ・比内第5分団(八木橋)消防車庫（新築、R3）
- ・大館第14分団(本宮)消防車庫（新築、R4）
- ・大館第6分団(松峰)消防車庫（新築、R5）
- ・比内第4分団(羽立)消防車庫（新築、R5）
- ・大館第9分団(餅田)消防車庫（新築、R6）
- ・消防署北分署庁舎整備（新築、R6）

○主な事業

- ・庁内掲示板の木質化（部課名プレート、掲示板など）（各課）
- ・環境マネジメントシステム グリーン購入基準見直し（環境課）
- ・工事用看板への間伐材の利用促進（工事発注担当課）
- ・秋田杉集成材需要拡大事業（林政課）
- ・大館市ペレットストーブ設置費補助事業（環境課）
- ・大館市木材サプライチェーン強靱化事業（林政課）
- ・ウッドスタート事業 誕生祝い品贈呈事業（林政課）
- ・木のぬくもりに触れる木育空間推進事業（生涯学習課）
- ・野遊びSDGs推進事業（観光課）

対象の取り組み	掲載事業
①市が整備する公共建築物の木造化及び内装木質化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・大館市木材利用推進会議の設置（林政課） ・別表「大館市木材利用促進計画 対象施設毎の工程表」のとおり ・内装木質化事業
②公用備品等における木製品導入の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の木材活用リレー～みんなで作るビレッジプラザ～の後利用（林政課） ・部課名プレート（比内総合支所、田代総合支所） ・庁内掲示板の木質化（人口世帯数等など）（各課） ・環境マネジメントシステム（EMS）グリーン購入の物品基準見直し（環境課）
③公共土木事業等における間伐材利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・工事用看板への間伐材の利用促進（工事発注担当課）
④市内住宅・非住宅への木材利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田杉集成材需要拡大事業（林政課）
⑤木質資源の多角的利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・大館市ペレットストーブ設置費補助事業（環境課）
⑥都市部との連携による木材利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・林業成長産業化地域創出モデル事業（林政課） ・大館市木材サプライチェーン強靱化事業（林政課） ・日本の木材活用リレー～みんなで作るビレッジプラザ～（林政課） ・みなとモデル事業（林政課）
⑦木育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ウッドスタート事業 誕生祝い品贈呈事業（林政課） ・木育インストラクター養成事業（林政課） ・大館曲げわっぱ150年の森育成事業（林政課） ・木育ひろば（生涯学習課） ・木のぬくもりに触れる木育空間推進事業（生涯学習課）
⑧「木の文化」を活かした「木のおもてなし」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・AKITASUGIツーリズム（林政課※大館北秋田地域林業成長産業化協議会） ・野遊びSDGs推進事業（観光課）

内 容	7 月	8 月	9 月
木材利用推進会議		<div style="background-color: #00a651; color: white; padding: 5px;"> ○第1回目会議の協議事項の設定 ○木材利用推進会議委員・体制案の作成 </div>	<div style="background-color: #00a651; color: white; padding: 5px;"> 【9月25日】 ○第1回木材利用推進会議の開催 </div>
木材利用促進計画		<div style="background-color: #00a651; color: white; padding: 5px;"> 【8月下旬～9月下旬】 ○木材利用促進計画の策定に必要な情報収集（庁内・庁外） </div>	
部会等			<div style="background-color: #00a651; color: white; padding: 5px;"> 【9月中】 部会委員の選定 </div>
事務局 アドバイザー		<div style="background-color: #00a651; color: white; padding: 5px;"> 【8月中旬】 ○木材利用推進会議アドバイザーへの相談・説明 </div>	

緑色着色：実施済み項目

内 容	1 0 月	1 1 月	1 2 月
木材利用推進会議		<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 【11月19日】 ○第2回木材利用推進 会議の開催 ⇒木材利用促進計画 素案の協議 </div>	
木材利用促進計画	<div style="background-color: #00b050; color: white; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 【10月中】 ○計画素案の作成 </div>		<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 【12月中】 ○12月議会 ⇒計画案の報告 </div>
部会等		<div style="background-color: #00b050; color: white; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 【11月6日】 ○第1回部会の開催 ⇒計画素案の説明 </div>	
事務局 アドバイザー		<div style="background-color: #00b050; color: white; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 【11月上旬】 ○計画素案の説明 ○第2回会議の事前説明 </div>	

緑色着色：実施済み項目

内 容	1 月	2 月	3 月
木材利用推進会議		【2月中旬】 ○第3回木材利用推進 会議の開催 ⇒計画最終案の説明	
木材利用促進計画	【1月中】 ○計画案意見聴取		【3月中】 ○3月議会報告 ○計画策定、公表
部会等	【1月下旬】 ○第2回部会 ⇒計画案に関する 意見交換		
事務局 アドバイザー	【1月下旬】 ○計画案の説明 ○第3回会議の事前説明		

緑色着色：実施済み項目